

「日墨研修気になるけど応募悩む」という方が読むと仮定して筆を進めよう。今期の日墨参加者は 34 人、内 2 人が埼玉県。他自治体の推薦枠いるが、埼玉県だけのメリットをまず紹介したい。それは「埼玉県親善大使になれること」。また、埼玉県のかわいいバッジをもらったり、埼玉県とメキシコ州の共同イベントに参加できたり、といったこと。私は静岡出身だが、埼玉に 3 年住んでいたため、「出身は？」という質問に "Soy de Shizuoka pero vengo de Saitama, una hora de Tokio. Hay muchos lugares hermosos." とためらわず言えるように早くなりたい。他自治体の参加者もそこが出身ではない人ばかりである。「行きたいけど出身ではないし」とためらう必要はなく、埼玉を紹介したいと思うなら応募可能、むしろ余所者から見る視点も重要で、日本の異なる地域を比較できることは利点。私はもっぱら埼玉の話といえば、川越の写真を見せまくっている。

他の参加者の話を少しすると、学生も社会人もごっちゃであるが、大学生の専攻だけ見ても言語学、国際関係学、観光学、教育学、商学部など多様。スペイン語レベルも全くできない人もいる。一言、日墨研修生としてメキシコに来る利点を述べると、それははずばり「ビザが楽に取れること」だ。ビザ手続きは日本でもメキシコでもとても時間がかかることで有名なので。また、時間はかかるものの銀行口座開設の段取りも組んでくれる。メキシコに着いた当日に、現地 SIM を買うことも可能。おうち探しも現地の人を手伝ってくれる。

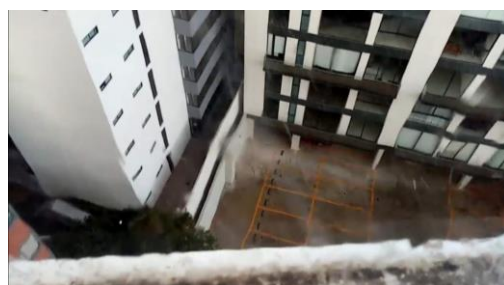
(写真右：おうち探しでの温かい出迎え)



軽くメキシコ生活について話したい。まず「治安」、日本でよく言われたのは「メキシコ?!生きて帰ってきてね?!」だが、今のところ怖い目には遭っていない。油断は禁物だがローカルバスや地下鉄、メトロバスも問題ない。初メキシコの方は交通量と道路の汚さに少し驚くかもしれない。そして物価、奨学金が入るまでは毎日カツカツだが、一日 500 円あれば割と贅沢できる。(写真左：たまの贅沢、CEPE 近くのカフェで。いちじくとほうれん草のサンドイッチ 58 ペソとハーブティー 33 ペソ)

私の今年のテーマは「発信」、今回このレポートで紹介することの叶わなかったことなど、メキシコの日常をインスタグラムで発信しているので、ぜひ参照してほしい@mio.ymmt.mex

最後に一言、雷が大嫌いな人はメキシコ生活はちょっときついかも。(写真右：非常にわかりづらいが 8 月でも雷雨にあられが混じる。毎日の雷雨は長引きこそしないが激しい。時間帯は夕方が多い)



今回は渡航の際の荷造りに関して、要らなかったもの、逆に持ってくるべきだったものについて、お話できればと思います。Hasta luego.